

愛知教育大学

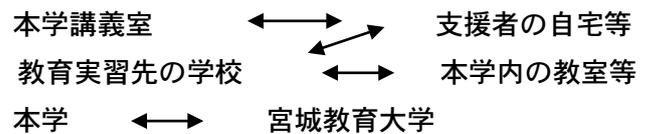
導入の目的

- ・ 学内支援者の有効利用（自宅等からの支援を行うことができるようにして、支援可能な時間帯を増やす）
- ・ 交通費の削減（遠隔地の支援において、現地に向かう人数を減らす。従来は、終日の支援では4名派遣していた）
- ・ 連携練習の機会を増やす（休日・夜間に遠隔システムを利用した連携練習会を開催する）

運用の詳細

- ・ 使用したシステム
遠隔支援サーバシステム
 - ・ 愛知教育大学内に設置したサーバ
 - ・ さくらvps上に構築したサーバ

・ 連携先



使用した場面

教育実習の支援を学内で行う



利用実績、独自の工夫、苦労した点

- ・ 本学授業
- ・ 遠隔システムを利用した連携練習
- ・ 他大学授業（宮城教育大学と週1コマ お互いに支援）
- ・ 附属学校など県内の学校における教育実習の観察
- ・ オープンキャンパス
- ・ 高校生対象の高大連携スクール

（工夫）

- ・ 現場に1名派遣して、不測の事態に対応する

（苦労した点）

- ・ 実際に支援する現場でネットの利用ができないことがあり、現場の支援者がノートテイクで対応した。

得られた効果

- ・ 連携練習の参加者が増えた。
- ・ 練習の機会が増えることで、技能が向上するとともに、支援に入ることができない人に対してもモチベーションの維持に役立っている。
- ・ 休日の集中講義やイベントなどへの支援者が確保しやすくなった。
- ・ 支援で初めて組む人でも、遠隔支援システムを利用して、事前に連携練習を行うことができる。

教職員、利用学生、支援学生の声

- ・ 他大学の支援者との連携入力で、連携のルールなどを考えさせられた。
- ・ 音声のみのため、先方の状況が分かりづらく不安に思うことがよくあった。